

# 選択的 夫婦別姓

# 国民の願いに 応え今こそ

## 小池書記局長が参院予算委 で早期導入を求めました



質問する小池書記局長＝6日、参院予算委（「しんぶん赤旗」提供）

日本共産党の小池晃書記局長は6日の参院予算委員会で、日本学術会議の会員候補6人の任命拒否問題で説明不能に陥っている菅義偉首相を厳しく追及。新型コロナウイルス感染症対策の強化を求めたほか、質問の最後に選択的夫婦別姓の導入について政府の姿勢をたどしました。

小池氏は、法律で夫婦同姓を強制している国は世界でも日本だけだと指摘。1996年に法制審議会が、選択的夫婦別姓導入を含む民法改正を答申してから24年もたっており、今こそ導入に踏み切るべきだと求めました。

小池氏は、2001年当時、自民党国会議員有志が党三役に、選択的夫婦別姓導入に向けた民法改正についての党内議論を進めることなどを申し入れた際、菅義偉、上川陽子両氏が賛同者に名を連ねていたことも指摘。「読売」（06年3月14日付）で、「別姓導入に理解を示す菅義偉衆院議員は『不便さや苦痛を感じている人がいる以

上、解決を考えるのは政治の責任だ』と話す」と紹介されたことを示し、「別姓導入を進めてきた方が総理になり法相になった。政治の責任を果たす時ではないか」と迫りました。

菅首相は「政治家としてそうしたことを申し上げてきたことには責任がある」と答弁。小池氏は、野党が選択的夫婦別姓を導入する法案を出し続けていることにもふれ、「いまこそ党派を超えて実現を」と呼びかけました。

質問動画はこちら →

選択的夫婦別姓に関する質問は 1:42 あたりからです



## ジェンダー平等社会を実現しましょう



ジェンダーについて学べるパンフレットを作成しました。ご希望の方はお近くの党事務所または党議員まで。ホームページでも内容を紹介しています。



参議院議員（東京選挙区選出）

やまぞえ・たく

# 山添 拓

# 日本共産党



ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2020年11月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。  
発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可